

佳日

細く差し込む陽光の
影との境界は慄える

アルペジオに包まれた旋律が
波に見え隠れする

たやす
容易く蹴飛ばすことができる
痛みなど感じることもあるまい

倦いてしまうことこそわずらわしい衣服
それとも衣服そのものがわずらわしいのか

高慢な自虐に身もだえする者は叫んでいる
人生だとか、社会だとか、交流だとかを

自虐がだめなら次はサディスティックな行為を求める
それもひとつの自虐だという顔をして

快楽を操る術こそこの滑稽な毎日には必要だ
こんなお節介な機能満載の被造物どもなどより

(2003.10.2)